

1 開催日時

平成30年1月12日（金）午後2時30分から

2 開催場所

会議棟第8会議室

3 出席者

教育長及び委員：岩田委員 藤宮委員 内野委員

事務局：阿部学校教育部長 岡田学校教育部参事 小俣社会教育部長

吉岡統括指導主事 當摩中央図書館長 石川教育総務課長

福嶋庶務係長

4 協議項目

(1) 東大和市学校教育振興基本計画の改定について

(2) 教職員の働き方改革について

(3) 平成29年度東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について

(4) 「第二次東大和市子ども読書活動推進計画」（素案）に対するパブリックコメントに寄せられた意見について

5 会議の要旨

(1) 東大和市学校教育振興基本計画の改定について

①主な説明

・今回の策定は、平成25年12月に策定した東大和市学校教育振興基本計画の計画期間【平成26年～平成30年】が平成30年度で終了することに伴う改定である。

・計画の策定に当たり検討委員会を設置したい。構成員は、教育長・教育委員・小中学校校長会代表の方・学校教育部内管理職・学識経験者・公募市民を考えている。

・今後のスケジュール案を説明した。

②主な内容

・特になし

(2) 教職員の働き方改革について

①主な説明

・先生の長時間労働が問題視されている。

・東京都の調査結果によると週当たりの在校時間が60時間を越える「過労死ライン」相当にある先生が多数いる。

・平成29年8月に中央教育審議会特別部会からの「学校における働き方改革に係る緊急提言」を受け、大規模な予算措置などがなくても実施できる

4つ（①管理職による先生の勤務時間の把握の徹底等。②定時退勤日を設定する等。③教育委員会からの電話連絡を原則午後6時以降は行わない等。④学校から家庭への連絡を小学校は原則午後6時、中学校は午後7時までを目安とする等。）の取組みを提示した。

- ・東京都が働き方改革に関するプラン「働き方改革推進プラン（仮称）」を作成している。市でも今後、働き方改革に関する実施計画を策定していく予定である。
- ・学校における働き方改革の目的は、教員一人一人の心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することにより、学校教育の質の維持向上を図ることである。

②主な内容

- ・先生には、心身ともに健やかにいてほしい。
- ・一週間を基準として平日1日、土日についてはどちらか1日は部活動を行わない日として設けることが望ましいとされている。
- ・部活動指導については、外部指導員を活用し指導及び引率などを依頼していく方向である。
- ・先生は、職員室に遅くまで残って仕事していることが多く、大変な仕事であるとあらためて認識した。

(3) 平成29年度東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について

①主な説明

- ・対象は、小学校5年生及び中学校2年生である。
- ・平成29年度の東京都学力向上を図るための調査は、7月6日（木）に実施済である。
- ・平成28年度と29年度の小学5年生及び中学2年生の学力状況の変化についてまとめた。
- ・都の平均正答率を上回ってきている学校が増えてきている。

②主な内容

- ・子どもたちは、文章が読み取れない、汲み取れないといった読み解く力が衰えている傾向にある。
- ・読み解く力とは、単に文書を理解するだけでなく、表を見て内容を理解することや資料を読み取れるといったことも含まれる。
- ・読み解く力をつけるには、自分で考えること、そして学校や家庭など大人が仕掛けて発言を考えさせることが必要となる。常に、課題意識をもって、主体的に考えさせることや先生や親の子どもへの言葉がけも大切である。

(4) 「第二次東大和市子ども読書活動推進計画」（素案）に対するパブリックコメントに寄せられた意見について

①主な説明

- ・第二次東大和市子ども読書活動推進計画(素案)に対するパブリックコメントを11月15日から12月4日にかけて実施した。二人の方から5件（①障害のある方に対する対応。②学校教育の計画とのかかわり。③読書活動

を支える人材、学校司書の位置づけ。④職員体制の充実。⑤可能な限り実績数値等を明示することなど) の意見をいただいた。

- ・今後、庁内の策定委員会に報告する。

②主な内容

特になし